

各部の名前とはたらき

前面部 ※オプション類を接続すると本機側のPTTキーとマイクは自動で無効になります。設定でこの動作を変えることもできます。

ランプ

青色点灯：待受中
緑色点灯：受信
赤色点灯：送信中
青色点滅：減電池

マイク

送信するときに話します。
※ラベルなどでふさがないようにください。声を拾わなくなります。

▼(ダウン)キー

降順にチャンネル変更するときに押します。

▲(アップ)キー

昇順にチャンネル変更するときに押します。

PTT(送信)キー

押すと送信します。再度押すと待受けに戻ります。設定を変えると押している間だけ送信できます。

ディスプレイ



①	メモリーモード時に点灯します。
②	「F」キーを押すと点灯します
③	電話モード時（2者間同時通話 / 複信中継子機通話）に点灯します
④	同時通話（2～4者間）モード時に点灯します
⑤	秘話機能設定時に点灯します
⑥	コンバンダー機能設定時に点灯します
⑦	ベル機能設定時に点灯します

⑧	ノイズキャンセラー設定時に点灯します
⑨	電源電圧が低下（減電池）すると点灯、点滅します
⑩	チャンネルやグループ番号、セットモード項目を表示します
⑪	未使用
⑫	キーロック中に点灯します
⑬	子機として使用する各モード時に点灯します
⑭	複信中継子機時に点灯します
⑮	Bluetoothやペアリング時に点灯、点滅します
⑯	受信中に点灯します
⑰	送信中に点灯します
⑱	通話番号、周波数帯、メモリー番号を表示します

* 未使用：リセットの全点灯時に表示されますが、通常使用では表示されません。

基本操作

ここでは基本的な操作と3者・4者間同時通話だけを簡単に説明しています。本書に記載していないセットモードや注意点を含む詳細取扱説明書を下記に掲載しています。
https://www.alinco.co.jp/ 「製品情報 > 通信技術 > ダウンロード > 特定小電力無線機」
右図または本機背面のQRコードをスマートフォンで読み取り、弊社HPから同じ詳細説明書をダウンロードできます。

■キー操作

「キーを押す」はしっかり押した後、すぐに放すことを指します。
「キーを長押し」は約2秒間押し続けることを指します。

■電源を入れる / 音量を調整する

電源/音量ツマミを時計方向に回すと電源が入り、表示が出ます。さらに回すと音量が上がります。初めての時はツマミの目盛を3程度にしておいて、通話開始時に調整します。反時計方向に回し切ると電源が切れ、表示が消えます。

■チャンネルを合わせる

▼/▲キーを押してチャンネル（A～H）の内の1つを選び、通話したい無線機全てを同じチャンネルに合わせます。Aは多用されるので混信しやすくなります。

アンテナ

アンテナは外れません。柔らかい素材なので多少曲がります。

電源/音量ツマミ

※少しずつ音量を上げて適切な音になるように調整してください。

オプション端子

別売オプションを接続することができます。

※接続するにはしっかりと奥までねじ込んでください。

ディスプレイ

SETキー

個別番号やグループトークの設定/解除ができます。

FUNCキー

長押しでキーロック設定/解除ができます。

* 通話モードの変更については、弊社HPの詳細説明書をお読みください。

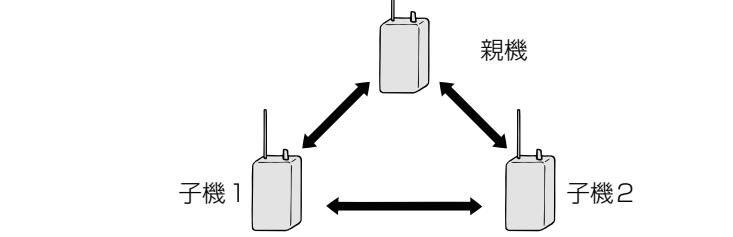
通話モード	チャンネル	通話番号
交互通話	L01～L09、b01～b11（20CH）	1
2者間同時通話	L10～L18、b12～b29（27CH）	2
3者間同時通話（初期値）	A～H（8CH）	3
4者間同時通話	A～H（8CH）	4
複信中継子機通話	L10～L18、b12～b29（27CH）	5
連続交互通話	A～H（8CH）	6
連続2者間同時通話	A～H（8CH）	7
7-チャネル2者間同時通話	L10～L18、b12～b29（27CH）	8
7-チャネル3者間同時通話	A～H（8CH）	9
デュアルオペレーション	L01～L09、b01～b11（20CH）	10

■3者間同時通話

初めて本機の電源を入れたときのモードで、3人の同時通話ができます。必ずイヤホンマイクやヘッドセットが必要です。スピーカーマイクはハウリングするため使えません。グループトークについてはあらかじめ最適なものがプリセットされています。初期設定ではタイムアウト制限がない連続送信ができ、PTTホールド、コンバンダーが有効となります。

- 3人の位置関係や、4人以上で使用者が入れ替わったり受信だけのユーザーがいる場合に制限があります。詳しくは弊社HPの詳細取扱説明書をお読みください。
- 狭い反響空間ではハウリングが起きて使えないことがありますが、製品の仕様です。
- トンネルや地下通路のような閉鎖空間では電波伝搬上の理由で通話できないことがあります。
- このモードはユーザーが必ず3人必要です。
- 通話中、親機がグループを抜けると、子機1・子機2の通話も途切れます。
- 子機1または2がグループを抜けても通話は続きます。
- このモードではコンバンダーを有効（3人全員）のままお使いください。
- 親機送信時（受信なし）のみ自動的にコールバックが動作します。

チャンネル：A～H



通話を始めるときは一人ずつ順番に接続します。同時に送信したり、受信しですぐに送信したりすると正しく接続できません。イヤホンとマイクの位置が近すぎたり、受信音やマイク感度を上げすぎているとハウリングします。位置関係や音量を調節してください。

①待受中に、1番目の親機になる人が「PTT」キーを押して送信します。「送」が表示され「子機」が消えます。マイクに向かって話します。
②2番目の子機1は、親機の音声を受信し約2秒ほど待ってから「PTT」キーを押します。通話できると「送 受」「子機」が表示されます。この時親機も「送 受」になります。マイクに向かって話します。
③3番目の子機2も親機と子機1の音声を受信したら、約2秒ほど待ってから「PTT」キーを押します。通話できると「送 受」「子機」が表示されます。マイクに向かって話して3人で通話できることを確認します。

■ 個別番号

あらかじめ3人全員が個別番号を設定して親機、子機1、子機2の関係を固定することもできます。設定後は上記の順番に関係なく送信できます。

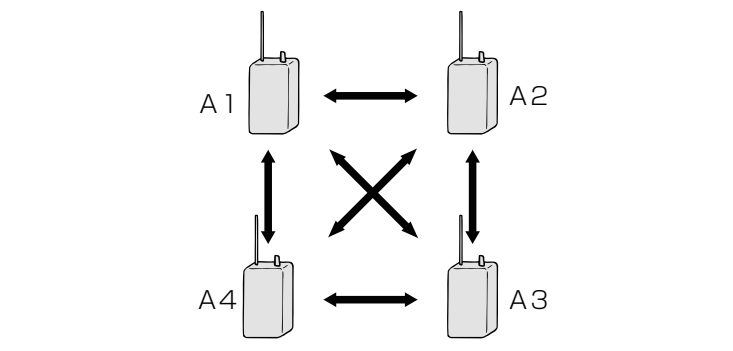
①待受中に「SET」キーを約1秒押すと、個別番号が設定されます。
個別番号：1 親機、2 子機1、3 子機2
②個別番号を変更する場合は、「F」キーを押し続けたまま、▼/▲キーで選択します。

■ 4者間同時通話

4人で同時通話できるモードです。専用の中継器などは不要ですが、使用前に後述の説明にある個別番号の設定が必要となります。グループトークについてはあらかじめ最適なものがプリセットされています。初期設定ではタイムアウト制限がない連続送信ができ、PTTホールド、コンバンダーが有効となります。

- 5人以上で使用者が入れ替わったり受信だけのユーザーがいる場合に制限があります。詳しくは弊社HPの詳細取扱説明書をお読みください。
- 狭い反響空間ではハウリングが起きて使えないことがありますが、製品の仕様です。
- トンネルや地下通路のような閉鎖空間では電波伝搬上の理由で通話できないことがあります。
- このモードはユーザーが必ず4人必要です。
- 通話中、誰かが一人でも抜けると他の人の通話が途切れます。
- このモードではコンバンダーを有効（4人全員）のままお使いください。

チャンネル：A～H



通話を始めるときは一人ずつ順番に接続します。同時に送信したり、受信しですぐに送信したりすると正しく接続できません。イヤホンとマイクの位置が近すぎたり、受信音やマイク感度を上げすぎているとハウリングします。位置関係や音量を調節してください。

① 個別番号の変更は「FUNC」キーを押しながら素早く「▼/▲」キー押しで操作します。
② 待受で1人目（A1）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
③ 待受で2人目（A2）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
④ 待受で3人目（A3）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。
⑤ 待受で4人目（A4）が「PTT」キーを押します。送信マークが表示されたらマイクに向かって話します。お互いに通話確認します。

■ Bluetooth 機能

本機のBluetooth 機能に対応するアクセサリを使って通話ができます。
・Bluetooth の通信範囲は約10m（目安）です。
・登録台数は最大で8台です。8台を超えるとペアリング情報が古いものから自動で削除されます。
・アクセサリの音量は本機のツマミでも調整できます。
・Bluetooth 方式と有線式オプション（イヤホンマイクなど）を併用すると、両方から音声ができます。どちらかの音声を消す設定はありません。

1. 本機をペアリングモードにする

①「FUNC」キーを押しながら「SET」キーを押し、セットモードに入ります。
②「SET」キーを押すと次項目に、「FUNC」キーを押すと前項目に移ります。
③セットモード27の「bLt」を「▲」キーを押して「on」にします。その後「PTT」キーで確定します。待受画面に「」アイコンが点滅しランプが赤緑交互点灯します。※2台目以降 ペアリングする場合、④をお読みください。
④上記③の後に一度電源を切り、ランプが赤緑交互点灯するまで「▼」キーと「SET」キーを同時に押し続けながら電源を入れます。

2. アクセサリをペアリングモードにする

操作の前にアクセサリーの取扱説明書もお読みください。

①ランプが橙色に点灯後、緑点滅するまで「電源」キーを長押しします。
②「ペアリング中です」と音声が増えたら「電源」キーを放します。
※弊社製のアクセサリを初めてご使用になるときは電源を入れるだけで、ペアリングモードになります。またペアリングできる無線機が見つからない状態が5分つづくと、自動的にアクセサリーの電源が切れます。

3. 本機とアクセサリをペアリングする

上記の操作で本機とアクセサリが共にペアリングモードになると自動で接続します。接続できたら「」アイコンが点灯します。

注意	- アクセサリーの音量は本機の電源/音量ツマミでも調整できます。適切な音量に合わせてください。 - 本機の音量が極端に小さい、または極端に大きい場合、アクセサリーの音量では適切に調整できなくなるため、ご注意ください。 - 受信中に受信音の大きさが変化することがあります。一定のピープ音や強い信号を受信すると、強弱を一定レベルにして聞きやすくするためです。 - 一度ペアリングしたアクセサリとはそれ以降毎回ペアリングする必要はありません。 - 複数台同時接続はできません。また他社製のアクセサリはペアリングできません。
-----------	--

■ キーロック（誤操作防止）

誤操作を防ぐため、設定が終わったら待受状態でいずれかの操作をしてください。
簡易：「FUNC」キーを長押しします。「LoC-1」が点滅後「0」が点灯します。
通常：「FUNC」＋「SET」キーを同時に押します。「LoC-2」が点滅後「0」が点灯します。いずれも同じ操作で解除できます。「通常」のほうが解除されにくいです。

■ リセット（初期化）

電源を切り「FUNC」キー押したまま電源を入れます。ディスプレイが全点灯し基本機能（通話モード、チャンネル、ペアリングなど）がリセットされます。また電源を切り「▼」＋「▲」＋「FUNC」キーを押したまま電源を入れると拡張機能も含めて工場出荷状態にリセットされます。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない	バッテリーを取付けていない	バッテリーを正しく取付けてください
	バッテリーが消耗している	充電するか新しい電池に交換してください
音が出ない	音量が出ない	オプション類を正しく接続してください
受信できない	相手とチャンネルが違う	同じチャンネルにしてください
	相手と距離が離れている	通信距離を目安に送信してください
送信できない	電波を受信している	電波がなくなってから送信してください
	3分通信制限を超過している	PTTキーを放して2秒経過後に送信してください
充電できない	端子が汚れている	端子の汚れをふき取ってください
	充電池が劣化している	新しい充電池に交換してください

* 充電池の残りが少ないとまれに誤動作することがあります。充電してください。本機を分解すると技術基準適合から外れ、それを使うと不法無線局となり処罰されます。メンテナンスや修理は販売店か弊社サービスセンターにご相談ください。

生産終了品に対する保守年限

生産終了後も5年間は補修用部品を在庫しています。不測の事態で欠品した場合には保守ができなくなることがありますのでご了承ください。

オプション一覧

EBP-114	リチウムイオンバッテリー	EME-32A	イヤホンマイク カナル型
EDH-46	乾電池ケース（単三形アルカリ3本）	EME-48A	イヤホンマイク 耳かけ型
EDC-331A	シングル充電器（ACアダプター付属）	EME-62A	咽喉イヤホンマイク カナル型
EDC-331R	シングル連結充電スタンド	EME-63A	ヘルメット用ヘッドセット
EDC-287	ACアダプター（シングル保守用）	EME-64A	ヘッドセット
EDC-162	ACアダプター（連結用）	EMS-71	防水スピーカーマイク
EME-58	ストレートコードイヤホン 耳かけ型	EME-80BMA	Bluetooth イヤホンマイク
EME-60	ツイストコードイヤホン カナル型	EMS-87B	Bluetooth 防水スピーカーマイク
		EHC-40	ハードケース

* ベルトクリップはスベア部品をご用意しています。販売店にご相談ください。
* 同時通話時にはイヤホンマイクかイヤホンが必要です。スピーカーマイクは使用できません。

定格

送受信周波数	Lチャンネル	421.8125～421.9125MHz
		422.2000～422.3000MHz 440.2625～440.3625MHz
	bチャンネル	421.5750～421.7875MHz
		422.0500～422.1750MHz 440.0250～440.2375MHz
制御チャンネル	421.8000MHz、422.1875MHz、440.2500MHz	
電波形式	F3E（FM）、F1D（FSK）	
送信出力	10mW、1mW	
受信感度	－14dBu（12dB SINAD）	
音声出力	80mW以上（8 Ω 負荷）	
通信方式	単信、半復信、複信	
電源電圧	リチウムイオンバッテリー 3.6V/3120mAh（別売 EBP-114） 単三形アルカリ乾電池 4.5V（別売 EDH-46）	
消費電流	送信時：約 90mA（10mW時）、約 75mA（1mW時） 待受時：約 85mA バッテリーセーブ時：約 28mA	
動作温度範囲	－10℃～＋50℃（充電：＋10℃～＋40℃）	
寸法	幅 56.5mm × 高さ 258.9mm × 奥行 31.0mm（突起物含む）	
重さ	約186g（EBP-114 装着時） 約222g（EDH-46 装着時 単三形アルカリ乾電池含む）	
使用時間の目安	リチウムイオンバッテリー 単三形アルカリ乾電池	
	交互通話	約 85時間 交互通話 約 74時間
	2者間同時通話	約 19時間 2者間同時通話 約 15時間
	3・4者間同時通話	約 14時間 3・4者間同時通話 約 10時間

・仕様、定格は予告なく変更する場合があります。本書の説明用イラストは実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。本書の内容を無断転載することは禁止されています。乱丁、落丁はお取り替えいたします。

◆◆◆ 安全上のご注意 ◆◆◆

安全上のご注意

- 本機を正しく安全にお使いいただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。使用者や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、**次の内容をよく理解してから本文をお読みください。**

 危険	この表示は「人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「人が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

- * 重傷とは、けが、やけど、感電、骨折などの傷害で入院や長期通院をしたり、後遺症が残ったりするものを指します。
- * 傷害とは、治療に入院や長期通院の必要がないやけど、けが、感電などを指します。
- * 物的損害とは、家屋、財産、家畜及びペットなどにかかわる拡大損害を指します。

免責事項について

- 天災や人災及び弊社の責任以外の火災、本機の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とはことなる使用方法で本機を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた純粋経済損害、また人命救助などを目的とした通信に本機を使用し通信の途絶、故障や誤動作、電池の消耗などにより人命に関わる事態が生じてても弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 弊社が関与していない接続機器との組み合わせによる誤動作や、使用中の故障・電波環境などから通信や受信できなかったことで発生した逸失利益に対する責はご容赦ください。

■ 共通(本機/バッテリーパック/充電器/ACアダプター)

△危険

- 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
 - 指定以外の機器を充電しないでください。
 - 指定以外の充電器を使用しないでください。
 - 指定以外のACアダプターを接続しないでください。
- 引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。
爆発、火災、感電、故障の原因になります。本機は防爆仕様ではありません。
- 直射日光があたる場所、空調機や火の近くなど、温度が高くなる場所には絶対におかないでください。
破裂、火災、故障の原因になります。真冬でも閉め切った車内や窓際は日光があたると本機の表面はバッテリーパックの破裂につながる温度まで上昇します。
エアコン暖房程度の温風でも連続して当たっていると高温になります。
- 雷が鳴り出したら、屋外での使用時は直ちに屋内、車内など安全な場所に避難、充電器をご使用の場合はAC アダプターを ACコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

△警告

- 分解、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- 万一、発煙、異臭、異音などの異常がある場合は、使用しないでください。
継続してお使いになると、火災、感電、故障の原因になります。バッテリーパックや乾電池ケースを外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜き煙が出なくなったことを確認してから、お買い上げの販売店、または、弊社サービスセンターにご連絡ください。
- 小さいお子様やペットの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電やけがの原因になります。
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電・やけど・けがの原因になります。

△注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- 清掃するときは、洗剤や有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）を絶対に使用しないでください。柔らかい綺麗な布で乾拭きをしてください。
ケースが損傷したり、文字が変質したり、塗装がはがれたりする恐れがあります。また、機器内部に洗剤などが浸透し故障の原因になることがあります。

■ 本機

△警告

- 医療や介護関連、または空港、鉄道、港湾、放送局、中継局など電波を使用する施設での使用については各施設管理者に事前に問い合わせ、承認を得てからご使用ください。
電波障害による機器の誤動作が重大な事故や妨害の原因となります。
- 運転中に本機を手を持って操作しないでください。
このような行為は運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。

- 本機を振り回したり、投げたりしないでください。
部品が外れて人や壁などに当たり、けがや故障、破損の原因になります。
- 大きな音量でイヤホンやイヤホンマイクなどを使用しないでください。
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。

△注意

- 付属品および、弊社指定のオプション品以外を使用しないでください。
故障や感電など事故の原因になります。
- 指定以外の温度範囲で使用しないでください。
記載の温度範囲以外でのご使用は故障、動作不良、発熱発火の原因になります。
- バッテリーパック、乾電池ケース、充電器の端子に半田付けをしたり、端子間を金属類で接続しないでください。
火災、発熱、感電、けが、故障の原因となります。

■ 充電器

△警告

- 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
 - 充電器に水を入れたり、濡らしたりしないでください。また水に濡れたときは使用しないでください。
 - 濡れた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
 - 充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。

△注意

- 次の事項を守らないと、火災、液漏れ、発熱、感電、故障の原因になります。
 - 10℃～+40℃以外の環境で充電しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。
 - 指定以外の電圧で使用しないでください。

■ ACアダプター

△警告

- 濡れた手で絶対にACアダプターに触れないでください。
感電の原因になります。
- アダプターや接続ケーブルに傷がある場合や、ACコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
火災、感電、故障、破損の原因となります。
- 次の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因となります。
 - コードの上に重いものを載せないでください。

- 次の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因となります。
 - ホコリがたまる場所にあるコンセントに接続しないでください。
(トラッキングと呼ばれる現象で発火することがあり、大変危険です。)
 - アダプターを抜き差しするときは、電源コード（以下コード）を引っ張らないでください。
 - コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
 - 水などの濡れやすい場所では使用しないでください。
 - アダプターをタコ足配線して使用しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所では使用しないでください。

■ バッテリーパック

△危険

- 火や空調機の近く、直射日光の当たる車内や窓際など、高温になる場所での使用、充電、放置は絶対にしないでください。
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護回路が動作して充電できなくなったり、保護回路が破損したりして破裂、発煙、発火や火災、液漏れ、やけどの原因になります。真冬でも閉め切った場所で温風や直射日光が当たると危険な温度まで上昇します。
- コンクリートなどの固い床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用を続けると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- 次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液漏れ、感電、やけどの原因になります。
 - 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
 - 液体につけたり、濡らしたりしないでください。
 - 膨れきたら使用をやめ、ただちに本機から外して電池回収ボックスに廃棄してください。
 - バッテリーパックの端子に半田付けしないでください。
 - バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
 - 金属類（針金、ネックレス、鍵など）や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックと一緒に持ち運んだりしないでください。
 - バッテリーパックから漏れ出した液が目に入ったときは、失明の恐れがあるので絶対にこすらないでください。すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。

△警告

- 使用中や充電中にいつもより発熱を感じたときは、使用を中止してください。
使用を続けるとバッテリーパックの破裂、発熱、液漏れ、故障の原因になります。電池回収ボックスに廃棄してください。

△警告

- ◎ **使用時間が短くなったとき、長時間使い続けたときはバッテリーパックを交換してください。**
3年を目安に長くても5年までに交換が必要です。使用を続けると発火や発煙の原因となります。

△注意

- ◎ **次の注意事項を守らないと、破裂、発熱、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。**
 - バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長時間放置しないでください。長時間バッテリーパックを保管する場合は、バッテリーパックを完全に使い切ってから、満充電の目安時間の半分程度充電してください。
 - 本機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。
 - 保管するときは必ずバッテリーパックをを本機から外してください。装着したままだと過放電して充電できなくなります。

バッテリーパックの特性と寿命について

- ◎ バッテリーパックは消耗品です。充電回数は300回～500回が目安です。
充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱している、膨れたなどバッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止してください。
- ◎ 使用せずに保管している状態でも、劣化が進行します。
劣化がはじまると、満充電状態からでも運用時間が短くなります。
- ◎ 劣化したバッテリーパックは発火や火災の原因となることがありますので、使用しないでください。弊社では3年を目安に、長くても5年でお買い換えをお勧めしています。

使用後はリサイクルへ



Li-ion

本機は、充電式電池使用機器です。希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCのホームページでご確認ください。
JBRC ホームページ <https://www.jbrc.com/>

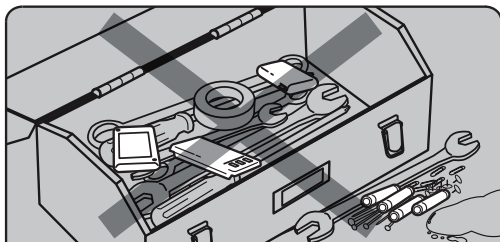
電磁ノイズ

インバーター回路を内蔵している電子機器およびハイブリッドカー、電気自動車の車内や周辺では電磁ノイズの影響を受けて、正常に動作できないことがあります。

- LED照明機器 ● 電磁調理器 ● 給湯器 ● 自動車の電子機器
- 太陽光発電装置

電池類の持ち運びについて

乾電池やバッテリーパックを持ち運ぶときは、以下のことにご注意ください。
端子をショートさせると大電流が流れて火災、やけどの原因になります。
1.5Vの単三形乾電池ですら数分程度で、約90℃以上の温度になるので十分な注意が必要です。



- ◎ 金属製のもの（ネックレス、ブレスレット、キー…）が入ったバッグや金属製のケース（工具箱…）などに直接入れないでください。
- ◎ 雨や雪、波しぶきなどが直接かかるような状態では持ち運ばないでください。
真水や塩水は電気を通します。
- ◎ 電池を持ち運んだり保管する場合は、必ず1個ずつビニール袋にいれたり布で包むなどしてショートしないようにしてください。
- ◎ 長期間使用しない場合は電池を無線機から外して、直射日光が当たらない、できるだけ湿度の低い冷暗所で同様の配慮をしたうえで保管してください。
補充電については別途充電器の項目でご説明しています。
- ◎ 廃棄のため電池類を保管する場合は必ず端子部分にセロテープを貼るなどしてショートしないようにしてください。

アフターサービス

◎ 保証と保証書

修理やメンテナンスなど、保証の詳細は販売店とおお客様の間の契約が優先されますので、ご購入時によくご確認ください。弊社の製品保証の内容は弊社発行の保証書に記載されています。保証書には購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号に間違いがないかをお確かめの上、本書と一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

◎ 保証期間が過ぎたら

お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。

アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

◎ 製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし、不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後5年です

◎ 注意事項

- 改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、技術基準適合から外れるため、修理をお断りすることがあります。また内部の部品は販売しておりません。
- 修理見積や保険用の証明書の発行は、一部有償です。
- 本機には明確に定められた製品寿命はありません。
- 樹脂成型時に細いラインが入ることがありますが、異常ではありません。
- 印字について美観上の問題が無い範囲でわずかなムラがあります。
- 使用条件によって端子部が変色することがありますが、異常ではありません。汚れはときどき乾いた清潔な綿棒で拭いて清掃してください。
- 静電気が溜まりやすい場所や服装で別売のイヤホンを装着するとき、耳に静電気ショックを感じる場合があります。ドアノブなどに触れて感じることもあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。
- 本体背面に貼られている黒く丸いシールをはがしたり、別のラベルで覆ったりしないでください。防水性能を維持できなくなったりします。
- 付属品、および弊社指定のオプション品以外のアクセサリを接続して使用すると故障や動作不良の原因になることがあります。他社製品をお使いになったの不具合は保証期間に関わらず、製品保証の対象外です。他社製品を本機に使うための改造サービスは有償、無償にかかわらず行っておりません。
- 本機を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用しないでください。事前の個別契約が無い限り、誤動作、不具合や損害が生じても一切の責任は負いかねます。
- 乾電池は推奨使用期限内にお使いください。古い電池は性能の低下、内部素材の劣化による液漏れの原因になります。使用期限は「月－2桁」または「月－西暦年号」の順で、本体またはパッケージに表示されています。例：01－23、01－2023は2023年1月を表します。
- 別売の乾電池ケースをお使いになるときは、信頼できる品質のアルカリ乾電池をお使いください。マンガン乾電池、ニッケル水素充電電池や低品質の電池は運用時間が短くなり、動作不良の原因になります。リチウム乾電池は初期電圧が高いため故障の原因となります。絶対にお使いにならないでください。

- 廃棄の方法は一般家電製品と同等です。普通のゴミと一緒に捨てないでください。環境破壊の原因となります。

電波法

- ◎ 本機は電波法に基づいて、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた製品で、右記の「技適マーク」が印字されています。分解しないでください。改造して使うと罰せられます。



- ◎ 本機に貼付されたラベル類は重要です。次のことにご注意ください。
 - 機種名、数字や記号が書かれたラベル類は一切絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法機器とみなされることがあります。
 - ラベル類が隠れるように他のシールやステッカーが貼り付けられていたら、修理の際に弊社サービスセンターで破棄させていただきます。ラベル類の印字が薄れてきた場合はお買い上げいただいた販売店が弊社サービスセンターにご相談ください。
 - ラベル類が意図的に手を加えられていると判断した場合、修理をお断りすることがございます。不法無線局開設の補助に該当するためですのでご了承ください。
- ◎ 他人の通信を妨害したり、通話の内容を無断で漏らしたり、勝手に利用したりすることは電波法で禁じられていて、違反すると罰せられます。
- ◎ 使用できるのは、日本国内に限られています。
- ◎ 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本機を使用しないでください。電磁妨害により機器が誤作動すると、人命にかかわります。

外郭保護性能

本機は設計段階で外郭保護等級 IP67 規格の耐塵防浸試験に合格しており、適合するアクセサリ、バッテリーパックを正しく装着するなど指定の条件を満たしていれば、水周りやホコリっぽい環境の中でお使いになっても故障しにくい構造になっています。ただし耐塵、防浸試験には条件があり、完全な保護を保証するものではありません。本機、バッテリーパックは装着しないと防水にはなりません。単体で濡れたり、汚れたりすると故障の原因になります。流水洗浄や条件を超える水没などは故障の原因になります。金属性、油性、酸や塩分・化学物質を含むなど、特殊な粉塵や液体、気体が製品に使われている素材や部品に付着すると腐食、劣化や故障の原因になりますが、保証の対象外となります。保護に使われているカバーやシールドの素材は経年劣化のため変質し、保護性能が低下します。弊社の外郭保護性能保証は製品の保証期間と同じです。保護が重要な場合は有償でメンテナンスを承ります。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。外郭保護性能に有無にかかわらず汚れたり濡れたりしたときは、すぐに汚れを落としてから乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけていただくと長く正常な状態でお使いいただけます。